

精神障害者の就労支援 福山のNPOが新社屋 3事業所集約 交流拠点に



新社屋の完成を喜び合う職員や通所者たち

精神障害者の就労支援に取り組む福山市のNPO法人「びいあらいぶ」は、城見町に新社屋を設けて市内の3事業所を集約する。障害への理解を深める場にし

ようと、地域交流の拠点としても活用する。

弁当などを提供する作業所「ほっとはうす のぼら」の土地を購入し、2階建て延べ619平方メートルを新築した。のぼらに加え、喫茶店兼食堂「はちどり&ぼーこ」、リサイクルショップ「はみんぐ」が入る。4月に1事業所として事業を始め、各店舗を順次オープンする。

「のぼら」が2002年に開所し、06年にびいあらいぶとしてNPO法人化した。利用者は現在、1日計約40人。3事業所を賃借で運営してきたが、将来にわたり事業を安定して続けていこうと自前の社屋建設に踏み切った。

これまでも店舗で音楽イベントをしたり、地域の集まりに弁当を届けたり、地元とのつながりを深めてきた。新社屋でも一部スペースを開放し、イベントや集会など住民が気軽に立ち寄れる場所にしていく。久次米博子理事(68)は「精神障害者の人たちが当たり前に働く姿に触れることで、障害への偏見や無理解がなくなるきっかけになってほしい。新事業所でさらに仲間を増やしていきたい」と期待している。(吉原健太郎)